

- 器械標品藥品ノ事 附表二 (同上)
- 収支計算ノ事 附表一 (源曆年)

東京大學第二年報 止明治十四年十二月

○ 處務概要

職制創廢

- 一月二日東京大學幹事ヲ置キ總理ノ次ニ列ス
- 同月十日教場及其他へ補助ヲ置ク
- 一月十六日附屬病院ニ當直醫介補ヲ置ク
- 二月十日醫學部從前ノ監事ヲ廢シ其負擔ノ事務ヲ自今渾テ教務課ニ擔當セシム

部局改廢分合

- 二月十三日理學部觀象臺ヲ兩分シテ其天象ニ關スル推測所ヲ天象臺ト稱シ其氣象ニ關スル測候所ヲ氣象臺ト稱ス是ニ於テ從前天象氣象トモニ觀象臺ニ於テ觀測セシモノ各分掌スルニ至ル

○二月廿三日器械課ヲ改メテ器品課ト稱ス

○四月四日本年度限リ脚氣病院ヲ廢シ自今該病審査ノ事一切醫學部ニ於テ管掌スヘキ旨ヲ達セラル

○六月醫學部豫科ヲ更ニ東京大學豫備門ニ合併シ豫備門ヲ本醫醫學部豫科ヲ分發ト稱シ分發ヲ假リニ醫學部内ニ置ク

○七月一日醫學部醫院ヲ東京大學醫學部第一醫院同附屬病院ヲ全第醫院ト改稱ス

諸規則學科課程新設改正

○一月十六日醫學部附屬病院當直醫介補規則ヲ定ム是レ從前別課醫學卒業ノモノ診察法及治療法等習熟ノ日尙ホ淺キカ爲ニ往々實地治療ノ際ニ至リ修業ノ缺乏ヲ發見スル不勘因テ自今該卒業生中志願ノモノヲ一年間右介補トナシ病床實驗ニ從事セシムルヲ便益ト爲スノ旨ニ原ケリ(其規則全文ハ東京大學醫學部一覽ニ載セタレハコトニ

零ス)

○一月廿五日理學部學科課程並法理文學部及豫備門諸規則ヲ改正スル左ノ如シ

化學科並ニ生物學科課程改正
化學科

第二年

- 分析化學 (檢質分析)
- 有機化學
- 物理學
- 金石學
- 吹管分析
- 英吉利語
- 獨乙語



生物學科

第二年

動物學

植物學

生理化學

英吉利語

獨乙語

羅旬語

第三年

動物學

植物學

古生物學

生理學

獨乙語

○

撰科規則追加

但シ追加條ヲ以テ第二條第三條ト爲スヲ以テ從前ノ第二條ハ第四條トシ以下之ニ准ス

第二條

各學部第二年級以上ノ學生ニシテ自己ノ學科ヲ充分ニ攻修スルモ猶餘力アルヲ以テ同學科中若クハ他學科中ニテ二課目以內ヲ撰ミ兼修セント請フ者アルキハ正科並ニ撰科兩教員ノ特ニ保證スル者ニ限リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三條

正科生及學士ニシテ撰科ヲ兼修セント欲スルモノハ英佛獨語和漢文學並ニ日本法律ト雖モ之ヲ撰ムコトヲ得

第四條

本文従前ノ通

但シ正科生ニシテ兼テ撰科ヲ修ムルモノハ此限ニアラズ

○

入學在學退學規則第九條並ニ給費規則第二十二條兩條ノ但書ヲ刪除ス

○

試業規則第四條第九條第十三條但書追加及改正

第四條

本文従前ノ通

但シ理學部中實驗ノ業ニ付スル學期評點ハ此限ニ在ラス

第九條

本文従前ノ通

但シ理學部中實驗ノ業受持ノ各教員ハ其業ニ限リ學期評點數ノミヲ申報スヘシ

第十三條

本文従前ノ通

但シ前學年試業或ハ學期試業ニ合格シタル課目中其學年或ハ學期ニ全ク終リタルモノニ限リ平常課業ヲ缺席スルヲ許スコトアルヘシ尤平常試業並ニ學期學年試業ハ必ス之ヲ受ケシムルモノトス

○

受業料規則(一覽中ニ學生費用トアル箇條中ノ一)改正

第三條

學生若シ貧困ニシテ所定ノ受業料ヲ納付スル能ハサル者ハ願ニ依リ詮議ノ上半額或ハ四半額ノ減納ヲ許可シ若クハ全額ノ免除ヲ許可スルコトアルヘシ

○

各學科(和漢文學科ヲ除ク)第四年ノ課目中卒業論文ノ下ニ「邦文漢文若

英文「ノ七字ヲ加フ

○ 理學部中各學科第三年及第四年生ノ爲メニ漢文學ノ講義ヲ設ク隨意聽講セシムルノ成規ヲ廢ス

○ 豫備門受業料規則(同門一覽中第三十八條)改正

第三十八條

生徒若シ貧困ニシテ所定ノ受業料ヲ納付スル能ハサルモノハ願ニ依リ詮議ノ上半額ノ減納ヲ許可スルコトアルヘシ但シ減額願出ハ必ス受業料納付日限中ノ始十日内ニ於テスヘシ

○ 一月三十日別課醫學生徒學科課程中ニ衛生學裁判醫學ノ二科ヲ増設ス

○ 三月七日法理文學部試業規則第七條第八條ヲ左ノ如ク改正ス

第七條

各學期ノ諸課目評點平均數ハ總課目ノ學期評點數ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ決スルモノトス

第八條

學年諸課目評點平均數ヲ計算スルモ前條ノ法ニ據リ總課目ノ學年評點數ノ和ヲ課目ノ數ヲ以テ除シテ決スルモノトス

○ 三月八日圖書館規則ヲ改定ス(其全文ハ明治十五乃至十六年東京大學一覽但シ改正中ニ載セタレバ之ヲ畧ス)

○ 三月十一日東京大學醫學部別課醫學生徒學科課程并ニ理科試業規則及同卒業試業規則ヲ左ノ如ク改正ス

東京大學醫學部別課醫學生徒學科課程改正

外科臨床講義	三時
眼科臨床講義	三時
内科臨床講義	三時
(局所解剖學)	
紉帶學及醫用器械學	二時
第七期	
產科學	四時
内科臨床講義	六時
外科臨床講義	六時
眼科臨床講義	三時
内外科外來患者臨床講義	六時
(小兒科)	
(皮膚病及微毒論)	二時
第八期	

内科臨床講義	六時
外科臨床講義	六時
内外科外來患者臨床講義	六時
(産科臨床講義)	
(裁判醫學及衛生學)	五時
(精神病)	
(外科手術論)	
(婦人病論)	三時
○	
醫學部別課醫學生徒理科試業規則及卒業規則改正(共全文ハ東京大學醫學部一覽第七章四節五節ニ載セタレハ茲ニ畧ス)	
○三月十一日東京大學法理文學部及豫備門諸規則中改正追加スルヲ左ノ如シ	



法理文學部入學在學退學規則改正追加

第六條

本文従前ノ通

但シ更ニ他ノ學科ヲ修メント欲シテ入學ヲ請フキハ總テ第四條ニ準シテ其許否ヲ定ム

第八條(改正)

法理文學部ニ入ル者ハ第二號書式ニ準シ正副保證人連署ノ在學証書ヲ出スヘシ但シ正副保證人ハ共ニ丁年以上ノ男子ニシテ東京府十五區内ニ於テ一家計ヲ立ツル者ニ限ル若シ東京府十五區内ニ於テ保證人二人ヲ得ル能ハサレバ共一人ハ東京府六郡内ニ住スル者ニテモ願ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條(改正)

保證人或ハ副保證人四週日以上ノ旅行ヲナサント欲スルキハ先ツ委任狀ヲ與ヘタル代理人ヲ立テ發途前ニ其旨ヲ届出歸京ノ上ハ再ヒ其

旨ヲ届出ツヘシ

但正副保證人共同時ニ旅行セント欲スルキハ四週日以内ト雖モ委任狀ヲ與ヘタル代理人一人ヲ立テ發途前ニ其旨ヲ届出ヘシ若其旅行四週日以上ニ涉ルキハ代理人二人ヲ要スルハ勿論トス

○

法理文學部撰科規則改正追加

但シ追加條ヲ以テ第五條ト爲スカ故ニ舊第五條ハ第六條トナス以下之ニ准ス

第一條(改正)

各學部第二等級以上ノ諸課目中一課目又ハ數課目ヲ撰ヒテ專修セント欲シ入學ヲ願出ツル者ハ各級正科生缺員ノ數ニ應シテ之ヲ許ス尤モ英佛獨語和漢文學并ニ日本法律ハ之ヲ撰フコトヲ得ス但書従前ノ通

第四條(改正)

撰科ニ入ルヘキ者ハ丁年以上タルヘシ

但書従前ノ通

第五條(追加)

法理文學部舊學生ニシテ一旦退學セシモノ撰科ヲ修メント欲シ再入學ヲ願出ル者ハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第六條(改正)

撰科ニ入ルヘキ者ハ先ツ撰科教員共學力實ニ所撰ノ課目ヲ學修スルニ堪ルヤ否ヲ査定スルヲ俟テ其入學ヲ許可スルモノトス

東京大學豫備門入學在學退學規則改正追加

第九條

入學ノ期ハ毎學年ノ始一回トス但シ時宜ニ由リ第二第三學期ノ始メ或ハ第三學期ノ終リニ於テ入學ヲ許スコトアルヘシ
右圈点ノ九字ヲ新加ス

第十條(改正)

第一學年級最下ニ入ルヘキ者ハ其齡十四年以上トシ第二學年級ニ入ルヘキ者ハ十五年以上トス其餘之ニ准ス

第十五條(改正)

入學ノ許可ヲ得タル者ハ第三號書式ニ準シ正副保証人連署ノ在學証書ヲ出スヘシ但シ正副保証人ハ共ニ丁年以上ノ男子ニシテ東京府十五區内ニ於テ一家計ヲ立ル者ニ限ル若東京府十五區内ニ於テ保証人二人ヲ得ル能ハサレハ其一人ハ東京府六郡内ニ住スル者ニテモ願ニ依リ詮議ノ上之ヲ許スコトアルヘシ

第十七條(追加)

保証人或ハ副保証人死去若シハ東京府十五區外又ハ他府縣ニ轉住スルトキハ直チニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學証書第三號ヲ書改メ之ヲ差出スヘシ

第十八條(追加)

保証人或ハ副保証人四週日以上ノ旅行ヲナサント欲スルトキハ先ツ
委任狀ヲ與ヘタル代理人ヲ立テ發途前ニ其旨ヲ届出テ歸宅ノ上ハ再
ヒ其旨ヲ届出ヘシ但シ保証人正副二人共同時ニ旅行セント欲スルト
キハ四週日以内ト雖モ委任狀ヲ與ヘタル代理人一人ヲ立テ發途前ニ
其旨ヲ届出ヘシ若シ其旅行四週以上ニ渉ルモノハ代理人二人ヲ要ス
ルハ勿論トス

第二十一條(追加)

生徒疾病事故等ニ因リ已ムヲ得ス退學セント欲スル者ハ其事由ヲ詳
記シ保証人連署ヲ以テ願出ルトキハ詮議ノ上之ヲ許スコトアルヘシ

第二十四條(追加)

生徒若シ怠惰不行狀又ハ校則ヲ犯ス等在學ヲ許スヘカラサル者ト認
ムルトキハ直ニ退學ヲ命ス

○ 同試業規則中削除追加

第三十四條

每學期及學年ノ終リニ於テ左ノ別表ノ定規ニ據リ生徒ヲ昇降シ或ハ
退學セシムヘシ尤第三級以下ハ始ク諸課目平均數ノミニ據リテ進退
スヘシ但シ試業ニ合格セサル者ハ何等ノ事由ニ拘ラス再試業ヲ受ク
ルヲ得ス

右圈點ノ二十六字ヲ削除ス

第三十六條(追加)

學期又ハ學年試業ニ合格セサル者ハ次學年第一學期ヨリ原級ノ全課
目ヲ再修セシムヘシ

○三月廿八日法理文學部入學在學退學規則等ヲ左ノ如ク改正追加ス
法理文學部入學在學退學規則改正追加

第十四條(改正)

學生若シ疾病或ハ其他ノ事故ニ因リ學期或ハ學年試業ニ缺席シ再ヒ

次學年學期或ハ學年試業ニ缺席スル者第六章第十二條ニ據リ特別試業ヲ受クル能ハサルモハ退學ヲ命ス

但シ學期或ハ學年試業ニ合格セスシテ次學年學期或ハ學年試業ニ缺席シ第六章第十二條ニ據リ特別試業ヲ受クル能ハサルモノモ亦本條ニ同シ

第十五條(追加)

學生若シ疾病ニ罹リ攝生室醫員ノ診斷ニ據リ所定ノ課程ヲ履踐スル能ハサルモノト認ムルモハ退學ヲ命ス

同試業規則改正

第十四條

學期或ハ學年試業ニ合格セサル者及學期或ハ學年試業ニ缺席セシモノ次學年學期或ハ學年試業ニ合格セサルモハ退學セシム

同撰科規則改正

第一條

各學部第二級以上ノ諸課目中一課目又ハ數課目ヲ撰テ專修セント欲シ入學ヲ願出ル者ハ各級正科生缺員ノ數ニ應シテ之ヲ許ス尤英佛獨語ハ之ヲ撰フヲ得ス

但書従前ノ通

同給費規則改正

第八條

給費生若シ所定ノ課程ニ準シ學業進歩セサルノ故ヲ以テ退學ヲ命スル時及疾病ニ罹リ本學醫員ノ診斷ニ據リ退學ヲ命スルモハ其給費金ハ一時ニ納付セシム
但シ事情ニ依リ詮議ノ上給費金ノ納付ヲ免スヲアルヘシ

○四月十日器品規則ヲ改定ス(其全文ハ明治十五年乃至十六年ノ東京大學一覽 歴但シ改正モ中ニ載セタレハ之ヲ畧ス)

○四月十九日法理醫文學部學生及豫備門生徒卒業證書ヲ改正ス(雛形畧之)

○五月十五日事務章程第二章第五項及第七項但ノ下ハ「急施ヲ要シ諮詢ニ暇ナキハ總理之ヲ施行シテ後會員ニ報告スルヲ得」ノ文ヲ追加セラル

○五月廿九日醫學部五等預科ヲ廢シ自今入學試業及第ノ者ハ直ニ四等豫科乙へ入學セシムルコトス

○五月三十日新ニ古典講習科ヲ置キ文學部ノ附屬トス蓋シ本邦從前

國學者ト稱スル者多クハ所謂古道ヲ祖述シ其他和歌有職等ヲ以テ家ヲナスモノ間々アリト雖モ皆世運ニ後レ時務ニ適セサルカ爲メ往々世ニ無用視セラレヨリ其學浸ク微ニ漸ク跡ヲ絶ントス然ルニ本邦舊典史類、歌詞、文章等ノ如キハ史家及ヒ社會學政事學修辭學等ニ從フ者ノ尤モ闕ク可ラサル所ナリ而シテ若シ上ノ景况ニテ今後幾數年ヲ經ハ世間復タ此等ニ通曉スル者ナキニ至リ特ニ國家ノ爲メニ甚々憂フヘキヲ以テ乃チ其專門ヲ開キ永ク其統ヲ傳ヘシムルノミナラス益以テ闡明スル所アラシメント欲シ是ヨリ先キ十二年十二月ヲ以テ建議スル所アリ而シテ今方ニ裁可ヲ得ルヲ以テ此設アルナリ因テ九月ニ至リ試業ニ合格スル者官費私費生合セテ三十六人ノ入學ヲ許ス

○六月二日ヨリ豫備門分發第一級生徒ニ礦物學ノ一科ヲ増設ス

○七月十七日古典講習科規則ヲ定ム(其規則全文ハ明治十五年乃至十



六年ノ東京大學法理文學部一覽
祖タル改正モ中ニ載セタレハ之ヲ畧ス

古典講習科課目
第一期

正史
雜史
法制
故實
辭章
支那歷史
漢文
作文詠歌

第二期

正史
雜史

法制
故實
辭章
支那法制
漢文
作文詠歌

第三期

正史
雜史
法制
辭章
支那法制
作文詠歌

第四期

正史
雜史
法制
辭章
支那法制
作文詠歌

第五期

正史
雜史
法制
辭章
支那法制
事實考証文案
作文詠歌

第六期

正史
雜史
法制
辭章
支那法制
事實考証文案
作文詠歌
卒業作文

○七月二十二日事務章程上款第十三項ヲ下款第十四項トナシ第廿二
項中一件ニ付三百圓以上トアルヲ五百圓以上ト改メ及ヒ第廿五項割
註ヲ刪除シ并ニ下款第十四項中及以下ヲ削除シ而シテ一項繰下第十
五項トシ第十五項ヲ第十六項ト改メラル

○八月廿八日法理文學部試業及學業證書規則ヲ改正ス(其全文ハ明治十五年乃至十六年東京大學法理文學部一覽第七章ニ載セシレバ茲ニ零ス)

○八月廿八日撰科規則第一條及第四條ヲ左ノ如ク改正ス
撰科規則改正

第一條

法理文三學部ノ諸課目中一課目又ハ數課目ヲ撰ヒテ專修セント欲シ入學ヲ願出ル者ハ各級正科生缺員ノ數ニ應シテ之ヲ許ス尤英佛獨語ハ之ヲ撰ムヲ得ス

第四條

撰科ニ入ルヘキ者ハ其齡十八年以上トス

○九月七日政治學理財學科課程ヲ改正スルヲ左ノ如シ

政治學及理財學科

第二年

統計學

理財學

史學 (史論)

和文學

漢文學及作文

作文 (英文)

獨乙語

第三年

日本古今法制論

國法學

理財學

日本財政論
 國際公法
 和文學
 漢文學及作文
 獨乙語
 第四年
 日本古今法制論
 行政學
 理財學
 日本財政論
 法理學
 作文 (漢文)
 卒業論文 (邦文漢文若英文)

○九月十一日醫學一二等學生ニ局所解剖學ノ一科ヲ加フ

○十月十四日法理文學部撰科規則ニ但書ヲ加フ
 撰科規則但書追加

第一條

本文従前ノ通

但シ英佛獨語ト雖モ其所撰ノ課目ヲ專修スルニ必要ナルキハ之ヲ兼修スルヲ得

○十月廿日古典講習科規則ヲ追加改正ス

古典講習科規則追加改正

但舊十一條ハ十三條トシ以下之ニ准ス

第十一條(追加)

官費生ハ每學年ノ始ニ於テ前兩期試業ノ結果ニ據リ之ヲ改撰スル者

トス

第十二條(追加)

官費生缺員アルキハ前期試業ノ結果ニ據リ自費生中ヨリ撰拔補缺スル者トス

第十五條(改正舊十三條)

官費生卒業後若シ文部省東京大學或ハ其他文部省直轄學校ニ於テ採用セントスルキハ必ス命ヲ奉シテ少クモ官費ヲ受ケタル年限間其職務ニ從事スルノ義務ヲ負フ者トス

○十月廿日醫學々生卒業ノ后實地習練ノ爲メ志願ノ者ヲソ一ケ年間第一醫院當直醫介補トシ手當金一ケ月金十圓 診察法及治療法等ヲ習熟セシムルヲトス

○十一月ヨリ醫學部別課醫學入學試業科目中ニ洋文ノ一科ヲ増設ス

○十二月廿九日法理文學部學科課程ヲ增廢スルヲ左ノ如シ

一 理學部第一年ニ物理學ヲ増設ス

一 化學部第三年ニ化學原理ヲ増設ス

一 工學部第二年ニ冶金學ヲ增加シ土木工學部第四年ノ應用地質學ヲ廢除ス

一 地質學部第四年ノ應用地質學ヲ刪除シ鑛物床形論ヲ増設ス

一 採鑛冶金學部第四年ノ應用地質學ヲ廢除ス

一 哲學及和漢文學部第二年ニ東洋哲學ヲ増設シ同年ノ哲學トアルヲ西洋哲學ト改ム

教場開閉及試業

○明治十五年一月八日法理醫文學部ノ各教場ヲ開ク ○全日別課醫學生徒舊製藥學通學生徒ノ卒業試問ヲ施行ス 舊製藥學通學生 ○九日別

課醫學生徒第三期理科試業ヲ施行ス○二月二日ヨリ醫學一等學生ノ
 客年十一月ニ課程ヲ完了セル者ノ卒業試問ヲ施行ス○三月廿三日ヨ
 リ法理文學部學生ノ第二期試業ヲ施行ス○三月卅一日法理文學部
 第二期終ル○四月八日法理文學部第三期始ル○全卅日別課醫學
 及製藥學生徒冬學期終ル○五月二日ヨリ二週間醫學々生及豫科生徒
 試業温習ノ爲メ教場ヲ閉ツ○全十五日ヨリ別課醫學第三期生ノ理科
 試業并同第一期生及製藥學第一期生ノ冬期試業ヲ施行ス○全十六日
 醫學々生定期試業始ル○全卅一日醫學々生冬學期終ル○六月二日醫
 學々生豫科生徒別課醫學生徒及製藥學生徒ノ夏學期始ル○全十七日
 法理文學部第三期課業終ル○同廿一日法理文學部學年試業始ル○
 七月十日法理文學部第三期終ル
 ○九月十八日法理醫學ノ各教場ヲ開ク元來十一日ニ開クベキ例ナレ
 此流行ノ虎烈痢病未ク消滅セサルヲ以テ一週間延期セシニ由ル○十
 一月十六日醫學々生定期試業始ル○全廿日別課醫學及製藥學生徒夏

學期終ル○全卅日醫學々生夏學期終ル○十二月二日醫學々生冬學期
 始ル○全五日ヨリ別課醫學第三期生ノ理科試業并同第一期生及製藥
 學第二期生ノ夏期試業ヲ施行ス○全十七日ヨリ法理文學部學生ノ第
 一學期試業ヲ施行ス○全廿四日法理文學部第一期終ル

卒業證書授與

○六月十日醫學卒業生二十七名舊製藥學卒業生五名へ假卒業證書ヲ
 授與ス○全日別課醫學卒業生十二名舊製藥學通學生二十三名へ假卒
 業證書ヲ授與ス○七月十日法理文學部卒業生三十一人ニ卒業證書ヲ
 授與ス○八月十九日別課醫學卒業生六名舊製藥學卒業生六名へ假卒
 業證書ヲ授與ス○十月九日曩々假卒業證書ヲ授與セシ醫學卒業生二
 十七名及舊製藥學本科卒業生五名へ卒業證書ヲ授與ス

學位授與

○十五年十月廿八日昨學年卒業ノ法理醫文學部ノ學生六十六人ニ學位ヲ授與スルノ典ヲ行フ大臣參議以下内外朝野紳士并偶來航スル所ノ朝鮮信使共儀ニ臨ム例年七月ヲ以テ之ヲ施行スト雖モ本年夏秋ノ交虎烈刺病ノ流行盛ニシテ多衆ヲ會スヘカラサルニ由リ特ニ其期ヲ延セシナリ即チ學位ヲ授與セラレタルモノ法學士ニハ土方寧、三崎龜之助、砂川雄俊、山田喜之助、渡邊安積、三和親本、岡山兼吉、井原師義、理學士中化學科ニハ植田豐橘、石川彌太郎、澤邊春水、橘梅三郎、物理學科ニハ藤澤利喜太郎、田中正平、田中館愛橘、動物學科ニハ石川千代松、土木工程科ニハ中原貞三郎、熊倉恭三、三浦健、長崎桂、地質學科ニハ横山又次郎、中島謙造、山田皓、採鑛冶金學科ニハ野呂景義、原田慎治、大木真直、和田義軌、大八木喬柔、醫學士ニハ及川良吾、鹿島武雄、坂本常長、高木文種、野川次郎、古川榮、佐藤三吉、青山胤通、柴田勝央、瀬川昌耆、猪子止戈之助、佐藤廉、富永伴五郎、太田彌太郎、朝川順三、田代正小倉開治、吉益政清、熊谷茂樹、西郷吉義、緒方收次郎、芳村晋、相磯愷、山根正次、戸塚卷藏、神中正雄、遠藤洋、吉田興

三、齋藤仙也、製藥學士ニハ柴山正秀、安香鏡行、八木秀太郎、平山增之助、中西司馬、文學士ニハ有賀長雄、高田早苗、山田一郎、天野爲之ナリ此内採鑛冶金學科大八木喬柔、醫學科及川良吾、鹿島武雄ハ十四年ノ卒業ニ係レリ

准醫學士許可

○五月廿五日舊東京大學醫學學校醫學卒業生河野貫道等二十九名ヲ醫學士ニ准スルノ議裁可セラレ是本年太政官第四號ノ布達ニ關シ稟申セシ所アルニ由ルナリ

留學生派遣

○二月文部省本學卒業ノ各學士ニ官費海外留學ヲ命ス即チ理學士飯島魁ヲ動物學修業トシテ獨乙國ヘ理學士九里龍作ヲ機械工學修業トシテ英國ヘ醫學士柳俣ヲ精神病學修業トシテ獨乙國ヘ醫學士三浦守

治ヲ病理學及病理解剖學修業トシテ獨乙國へ醫學士高橋順太郎ヲ藥
物學及斷訟醫學修業トシテ獨乙國へ文學士都築馨六ヲ政治學修業ト
シテ獨乙國へ留學ヲ命シ共ニ二月四日ヲ以テ發程ス○五月理學士渡
邊渡ヲ採礦學修業トシテ獨乙國へ留學ヲ命ス

陸海軍生徒委託

○三月四日陸軍官費醫學學生十名從來ノ振合ヲ以テ同省ヨリ醫學部へ
委託ス

○七月廿日海軍々醫生徒七名ヲ同省ヨリ醫學部へ委託ス

諭達

○六月一日頃來虎烈刺病漸ク府下ニ傳染シルヲ以テ學生々徒へ日常
飲食等ニ厚ク注意致スヘキ旨ヲ達ス

學生々徒水泳停止

○毎年七月ヨリ學生々徒運動ノ爲メ本所千歲町渡船場ノ中洲ニ於テ
水泳ヲ演習セシムルノ例アリシニ本年虎烈刺病ノ流行スルヲ以テ之
ヲ停止ス

演說禁止達

○六月十日渾テ學生ニシテ公衆ヲ集メ學術演說ヲ爲スハ教育上不都
合ニ付法理文學部第三年級以上醫學部二等學生以上ノ者ヲ除クノ外
之ヲ差止ムヘキ旨ヲ達セラレ(文部省達)

學事示諭

○十二月十一日はヨリ先キ教育事務諮問トシテ文部省ノ徵ニ應シ府
下ニ會集スル所ノ府縣學務課員等八十餘人來リテ本學ヲ觀覽ス乃チ
外山文學部長杉浦豫備門長之ニ應接シ中學卒業ノ者ノ豫備門へ入學

スヘキ件并ニ各府縣生徒貢進ノ件等ヲ開論シ其他示諭諮問スル所アリ蓋シ學事諮問會々幹ヨリノ照會ヲ經タルニ因テナリ

學術研究及學用標品採集派遣

- 三月三十日理學部教場補助加藤敬助ヲ鑽石採集ノ爲メ大約三週間ヲ期シ大分縣下豊後國大野郡木浦鑛山及ヒ鷲谷村へ派遣ス
- 四月一日助教渡邊邊ヲ洞穴測量ノ爲メ大約一週間ヲ期シ神奈川縣下相模國鎌倉郡田谷村定泉寺へ同西松次郎ヲ地質學實地研究ノ爲メ大約一週間ヲ期シ安房上總相模三國へ派遣ス
- 四月一日理學部講師箕作佳吉ヲ動物採集ノ爲メ往復一週間ヲ期シ相州三浦三崎へ派遣ス
- 六月七日植物學教場補助大久保三郎ヲ植物採集ノ爲メ二週間ヲ期シ上總國加納山清住山及安房國鑛山へ派遣ス
- 七月六日理學部講師箕作佳吉動物研究ノ爲メ廣島縣下へ出張ヲ命

セラル理學部准助教石川千代松之ニ隨行ス

- 七月六日東京大學助教石藤豐太ヲ分析用品採集ノ爲メ往復七週間ヲ期シ三重愛知岐阜兵庫山口長崎愛媛ノ各縣及京都府下へ巡回セシム

○七月六日東京大學教授岩佐巖鑛山巡見及鑛物採集トシテ岐阜石川福井三縣下へ出張ヲ命セラル理學部教場補助川地方敬之ニ隨行ス

○七月六日理學部教場補助加藤敬介ヲ金石採集ノ爲メ往復八週間ヲ期シ岐阜滋賀石川三縣下へ派遣ス

○七月六日野呂景義ニ助教役員ヲ命シ往復五十三日間ヲ期シ實地研究ノ爲メ出張スヘキ學生取締トシテ備中國吉岡銅山へ派遣シ該山業事畢ルノ後尙ホ同學生ノ取締トナシテ更ニ九月十日マテノ期ヲ以テ但馬國生野銀山へ出張セシム

○七月七日東京大學助教富士谷孝雄ニ地質學第二年生ヲ率井シメ地質實驗ノ爲メ往復四週間ヲ期シテ千葉縣下安房國平郡へ派遣ス同

月廿八日ニ歸府ス更ニ八月五日ニ至リ化石採集トシテ往復四週間ヲ期シ岐阜縣下美濃不破郡飛騨國大野郡及石川縣下加賀國石川郡ヲ巡回セシム

○七月十一日理學部准助教授田中館愛橘ニ物理學第三第二年學生ヲ率非シメ引力實測ノ爲メ往復四十七日間ヲ期シ沖繩縣下那覇港ニ派遣ス尙物理學教場補助山田堯扶ヲシテ之ニ伴行セシム

○七月十二日東京大學教授矢田部良吉植物採集ノ爲メ九州地方ニ巡回ヲ命セラル理學部植物學教場補助松村任三之ニ隨行ス

○七月廿六日東京大學雇瀧田鐘四郎同江沼元五郎ヲ動物研究ノ爲メ大分縣下豊後近海火無島ニ派遣ス

淡水動物採集

○陸軍省警視廳東京府ノ三術ニ照會シ十月十一月ヲ以テ動物實驗ノ爲メ赤坂門外遑ニ於テ淡水動物ヲ捕獲採集ス該學教員等之ニ從事セ

リ

外國人囑托

○六月舊理學部教師米人モールスノ再ヒ東游スルニ會シ乃チ之ニ本學從來採集スル所ノ古生物古器物標本ノ取調ヲ托ス

外國教師解雇具申

○一月廿七日雇外國教師ヲ滿期解雇セントスルキハ其旨豫メ具申スヘキノ旨ヲ達セラル

委員派遣

○一月六日東京控訴裁判所ノ依頼ニ應シ胎兒ノ胎内ニ在ル日數伸縮ヲ東京大學教授櫻村清徳ニ調査セシム

○一月廿日東京府ノ依頼ニ應シ醫術開業試驗委員トシテ東京大學教



授足立寛同助教授印東玄得ヲ派遣ス
 ○三月廿日東京府ノ依頼ニ應シ醫術開業試験委員トシテ東京大學教授桐原眞節同助教授印東玄得ヲ派遣ス
 ○四月文部卿ノ命ニ因リ内務省中英佛度目採排議會ノ委員トシテ東京大學教授菊池大麓同山川健二郎ヲ撰舉シ同會ニ參セシム
 ○七月七日文部省ノ命ニ因リ東京大學助教授(任)關谷清景同(判)野尻武助ヲ製圖方法議會ノ委員トス
 ○七月廿日東京府ノ依頼ニ應シ醫術開業試験委員トシテ東京大學教授桐原眞節同助教授宇野朗ヲ派遣ス
 ○八月廿五日東京輕罪裁判所ノ依頼ニ應シ毒殺未遂犯事件ニ關スル藥物鑑定ノ爲メ東京大學助教授下山順一郎ヲ派遣ス
 ○十月廿日東京府ノ依頼ニ應シ醫術開業試験委員トシテ東京大學助教授岡玄卿同助教授下山順一郎ヲ派遣ス

測候所風報

○從前小石川植物園ニ培植スル所ノ植物ニハ歐米等諸邦ノ珍異種多キニ年々暴風雨ノ爲ニ枝幹ヲ損害セラル、ノ患アルヲ以テ内務省ニ通牒シテ長崎、廣島、高知、和歌山等ノ測候所ヨリ特ニ暴風雨ヲ本學へ報センコトヲ照會ス爾來各地方ニ暴風雨アル毎ニ必ス其報ヲ得テ之ヲ前知スルヲ得ルニ至レリ

醫院ノ入院患者ヲ止ム

○七月虎烈刺病漸次蔓延ノ勢アルニ因リ一時醫學部第一第二醫院へ新患者ノ入院ヲ禁止ス是レ在院ノ患者許多ナレハ隨テ自然傳染ノ憂アラシクナリ慮リテナリ既ニシテ九月十一日ヨリ再ヒ患者ノ入院ヲ許ス

年報進呈延期

○三月六日經伺ノ上自今東京大學年報進達ノ期ヲ醫學部學年ノ始ヨ
リ百二十日間ト定ム

古器物保存

○十月二日太政大臣ヨリ左ノ如ク警視廳府縣ニ達セラル曰ク文部省
所轄東京大學ニ於テ考古學研究ノ爲メ教員學生等ヲ各地方ヘ派遣シ
介墟洞穴ヲ檢出シ地方廳又ハ所有主ヘ協議ノ上埋没ノ古物ヲ採集ス
ルトキハ直チニ同學ニ貯藏爲致候條爲心得此旨相達候事ニ本學ノ上
由請テスルコトナリ

共進會出品

○二月上野公園内ニ開ク所ノ米麥外三種ノ共進會ニ本學ヨリ該件ニ
係ル額面等數種ヲ出品ス

地所家屋交付及貸與

○二月十日日本學所属表神保町十番地ニ在ル建家ノ内六百八十一坪五
合ノ木材ヲ東京職工學校ヘ引渡スヘキ旨ヲ達セラル
○六月三十日日本郷區向ケ岡彌生町二番地舊脚氣病院建物七百九十二
坪九合八夕四才ヲ文部省ヨリ交付セラル
○八月十二日醫學部第一醫院附属脚氣病室病院脚氣ヲ今回虎烈刺避病
院トシテ東京檢疫局ヘ貸附セシ旨達セラル
○八月廿六日日本郷區向ケ岡彌生町二番地病院脚氣地坪九千七百十九坪
三合九夕七才ヲ大學所属地トシテ文部省ヨリ交付セラル

獻金

○八月四日新潟縣下越後國三島郡村田村平民小林輝平ヨリ東京大學
ヘ資金トシテ金百圓ヲ獻納ス乃チ文部省之ヲ本學ヘ送達ス

營築修繕

○明治十五年一月ヨリ同年十二月ニ至ル十二月間ニ於ル營築修繕事業中共費額一廉金五百圓以上ナルモノヲ舉レハ前年ニ於テ工事ニ着手セシ小石川植物園集會所新營ハ二月ニ至リ落成ス四月三學部内舊生徒寄宿舎ノ内部ヲ修改補繕シ寄宿課并ニ攝生室ヲ此ニ移セリ七月器械庫及ヒ書庫ヲ新營シ又前年ニ於テ起築セシ天象臺ノ新營全ク竣工セリ十月醫學部製藥演習場ヲ新營及ヒ同部寄宿舎ニ修繕ヲ加フル其他先年ヨリ經始セル法文二學部ノ築造ハ大事業ナルヲ以テ落成ノ期尙遠シト雖モ本年中支出ノ額ノミコテ既ニ金貳万五千九百七十五圓三十三錢貳厘トナル

書籍印刷

○明治十五年一月ヨリ同十二月ニ至ル一年間法理醫學部ニ於テ印刷セル所ノ書籍左ノ如シ

東京大學教師アトキンソン氏著

同 理學士 右藤澤太合譯

一 理科會粹日本釀酒編 和文

同 東京大學 助教授ブラウンス氏著

一 同 東京 近傍地質編 和文

同 東京大學 教授山川健二郎譯

一 同 東京 氣象編 和文

同 理學士 藤澤利喜太郎合著

同 田中館愛橘

一 理科會粹札幌重力量測編 英文

同 藤澤利喜太郎合著

一 理科會粹札幌重力量測編 英文

一 エマルソン氏著

一 カルナール、エンド、ビヘオル 英文 拔萃

一 エマルソン氏著

一 シピライゼイション、アート、エロリエンズ 英文

東京大學教授岩佐巖著

一試金要略和文

一册

東京大學教授小中村清矩述

一古典講習科開業演說案

一册

東京大學教授菊池大麓述

一氣象ニ用フル度目改否ノ意見

一册

一學藝志林自第五十四册至第六十五册

十二册

一博物場列品目錄

一東京大學一覽略表自明治十四年至同治十五年

一折册

一東京大學法理文學部一覽至同治十五年

一同一覽全英文

一册

一同一覽自明治十五年

一東京大學醫學部一覽自明治十四年

一册

一東京大學豫備門一覽自明治十五年

一册

一同一覽全英文

一同一覽自明治十五年

一同一覽至同治十六年

一東京大學法理文學部第八年報

一册

一東京大學醫學部第七年報

一册

東京大學醫學部冬學期醫學々生々徒學科表 起明治十四年五月

學科	週日	課業時	等	級	教員		
病理解論	火木土各一時間	二	等	學生	ベル		
內科臨床講義	全	全	全	全	全		
內科外來臨床講義	月 金 各一時間	二	等	學生	全		
產科	水 土 各一時間	全	全	全	全		
病理總論	月 火 木 金 全	三	等	學生	全		
外科各論	月 木 全	二	等	學生	スクリバ		
外科臨床講義	水 週六 各一時間	三	等	學生	全		
外科各論及眼科學	火 金 各一時間	二	等	學生	全		
眼科臨床講義	月 金 全	全	全	全	全		
外科總論	月 火 木 金 全	三	等	學生	全		
藥物學	每 週六 時間	全	全	全	エイキマン		
無機化學	全	全	五	等	學生	全	
解剖實地演習	每 週十二 時間	四	等	學生	ヤスセ		
解剖學	月 火 木 金 各一時間	五	等	學生	全		
生理學	全	全	四	等	學生	ナゲル	
生理學(胎生學)	月 水 金 各一時間	全	全	全	全		
物理學	每 週六 時間	五	等	學生	村岡範為馳		
植物學	水 土 各一時間	一	等	預科生	トルステル		
博物學	水 土 各一時間	二	等	預科生	全		
動物學	火 木 金 全	一	等	預科生	松原新之助		
獨乙語學	火 水 木 金 土 各二時間	全	全	全	グロート		
歷史	火 木 土 各一時間	一	等	預科生	全		
羅甸語學	月 水 金 全	一	等	預科生	全		
地理學	水 土 各一時間	二	等	預科生	全		
數學	火 木 土 各一時間	三	等	預科生	全		
獨乙語學	火 木 土 各六十二時間	二	等	預科生	村岡範為馳		
獨乙學(歷史)	月 水 金 各一時間	三	等	預科生	セルヌー		
算術	每 週二十四 時間	三	等	預科生	菅沢慎一		
獨乙語學	全	十二	時間	四	等	預科生	川上正光
全	全	全	全	全	乙 青田謙次郎		
作文	月 水 金 各一時間	全	全	全	全		
地理學	火 木 土 各二時間	全	全	全	全		
獨乙語學	每 週十二 時間	五	等	預科生	甲 生田堯則		
作文	月 水 金 各一時間	全	全	全	全		
地理學	火 木 土 全	全	全	全	全		

は 號

東京大學醫學部夏學期學生學科表 起明治十五年六月
止同十一月

學科	週日	日曜 ハ除ク	課業時	等	級	教員
病理	各論	火木土	各一時間	二	等	學生 ベル ッ
內科	臨床講義	全	全	全	全	全
內科	外來臨床講義	月水金	各二時間	全	全	全
產科	模型演習	水	土各一時間	全	全	全
病理	解剖學	月水金	全	三	等	學生 全
外科	各論	月火水金	全	二	等	學生 ス ッ リ バ
外科	臨床講義	火木土	各二時間	全	三	等
外科	外來臨床講義	月火水金	全	二	等	學生 全
眼科	臨床講義	月	金各一時間	全	全	全
外科	總論	月火水金	全	三	等	學生 全
局處	解剖學	火木土	全	二	等	學生 ザ ス セ
實地	組織學	水	金各二時間	四	等	學生 全
解剖	總論	土	二時間	五	等	學生 全
解剖	學	月火水金	各二時間	全	全	全
診斷	法	月水金	各一時間	三	等	學生 岡 玄 卿
綱帶	學	火	土全	全	全	宇 野 朗
處方	學	水	土全	全	全	エ イ キ マ ン
分析	術	火木土	各二時間	四	等	學生 全
有機	化學	每	週六時間	五	等	學生 全
生理	學	全	十二時間	四	等	學生 チ ー ゲ ル
物理	學	全	六時間	五	等	學生 村 岡 範 爲 馳

東京大學醫學部冬學期別課醫學徒學科表 起明治十五年一月 止全 年四月

學科	週日	課業時	等級	教員
學科	週日 <small>ハ除ク</small>	課業時	等級	教員
內科臨床講義	月 水 金	各二時間	七八期生	櫻村清徳
外科臨床講義	火 木 土	全	全	橋本綱常
內外科外來臨床講義	全	全	全	花岡眞節
皮膚病及微毒論	月 金	各一時間	七期生	全
裁判醫學	月 金	各二時間	八期生	片山國嘉
婦人病論	月 水 金	各一時間	全	櫻井郁次郎
產科學	月 火 水 木	全	七期生	全
眼科臨床講義	火 木 土	全	全	井上達也
全	月 水 金	全	六期生	須田哲造
眼科	火 水 金 土	全	五期生	全
內科各論	每 週	六 時 間	五六期生	三宅秀
內科通論	全	全	四期生	全
外科各論	全	全	五六期生	足立寛
外科通論	月 火 水 金 土	各一時間	四期生	全
內科臨床講義	火 木 土	各一時間	五六期生	岡玄卿
診斷法	全	全	五期生	全
外科臨床講義	月 水 金	全	五六期生	宇野朗
藥物學	火 水 土 金	各一時間	四期生	印東玄得
組機學	月 水 木 土	各一時間	三期生	田口和美
解剖學	每 週	六 時 間	二期生	全
生理學	火 水 木 金 土	各三時間	三期生	永松東海
有機化學	每 週	六 時 間	全	下山順一郎
無機化學	全	全	二期生	丹波敬三
植物學	月 火 水 木	各一時間	全	練木喜三
動物學	全	全	一期生	全
解剖學	每 週	六 時 間	二期生	今田東
全	火 水 木 金 土	各二時間	一期生	玉越興平
物理學	月 水 金 土	各一時間	一期生	飯盛挺造

東京大學醫學部夏學期別課醫學徒學科表 起明治十五年十一月

學科	週日	課業時	等	級	教員
內科臨床講義	月水金	各二時間	七八期	生	櫻村清徳
外科臨床講義	火水土	全	全	生	橋本綱常
內外科外來臨床講義	全	全	全	生	花岡眞節
皮膚病及微毒論	月金	各一時間	七期	生	全
衛生判生醫學	火水木金土	全	八期	生	片山國嘉
婦人病論	月水金	全	全	生	櫻井郁次郎
產科學	全	全	七期	生	全
眼科臨床講義	全	全	全	生	井上達也
全	火木土	全	六期	生	須田哲造
眼科學	火水金土	全	五期	生	全
內科各論	每週	六時間	五六期	生	三宅秀
內科通論	全	全	四期	生	全
外科各論	全	全	五六期	生	足立寛
外科通論	火水金	各二時間	四期	生	全
內科臨床講義	火木土	各一時間	五六期	生	岡玄卿
外科臨床講義	月水金	全	五六期	生	宇野 劼
器械及帶學	月金	全	六期	生	高階經本
診斷學	火木土	全	五期	生	田澤敬興
藥物學	火水金	各二時間	四期	生	印東玄得
處方學	月金	全	六期	生	草野元養
組機學	月水木土	全	三期	生	田口和美
解剖學	每週	六時間	二期	生	全
生理學	火水木土	各三時間	三期	生	永松東海
有機化學	每週	六時間	全	生	丹波敬三
無機化學	全	全	二期	生	全
植物學	月水金土	各一時間	全	生	松原新之助
解剖學	每週	六時間	全	生	今田 東
全	火水木土	各二時間	一期	生	玉越興平
動物學	火水木土	全	全	生	波江元吉
物理學	火水木土	各二時間	全	生	飯盛挺造

東京大學醫學部冬學期製藥學生徒學科表 起明治十五年一月
止同 年四月

學科	週日	日曜日 ハ除ク	課業時	等	級	教員
化學實地演習	每	週	十五時間	三期	生	熊澤善庵
製藥化學	全		六時間	全		片山吉則
藥品學	全		全			勝山忠雄
無機化學	全		九時間	一期	生	丹羽藤吉郎
物理學	全		六時間	全		飯盛挺造
植物學	月水金	各	一時間	全		練木喜三

東京大學醫學部夏學期製藥學生徒學科表 起明治十五年六月
止同 年十一月

學科	週日	日曜日 ハ除ク	課業時	等	級	教員
化學實地演習	每	週	廿四時間	四期	生	熊澤善庵
顯微鏡用法	火木土	各	一時間	全		下山順一郎
藥品學	全		全			柴山正秀
有機化學	月水金	各	二時間	二期	生	丹羽藤吉郎
動物學	火木土	各	一時間	全		波江元吉
鑛物學	月水金	全	全			熊澤善庵
植物學	每	週	六時間	全		安本德寬